

🌿 生物多様性への配慮

環境省「自然共生サイト」に認定後、OECM※に登録

長谷工コーポレーションは、長谷工テクニカルセンターを環境省の「自然共生サイト」に申請し、「認定」を取得しました(2023年10月6日)。

生物多様性については、グローバルな目標として、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする「30by30」が掲げられています。長谷工コーポレーションは、日本における「30by30」に資する施策である「自然共生サイト」に、2022年度の試行事業から参画して

おり、この度本認定取得に至りました。また、環境省により、OECMとして国際データベースに登録されました。

長谷工グループといたしましては、本認定を取得したことにより、より一層、生物多様性の価値の維持又は質の向上を企図し、日本における30by30目標の達成に貢献していきたいと考えています。

※ OECM：国等による保護地域ではないが効果的に自然が守られている場所



TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)提言に即した開示への取り組み

長谷工グループは、2023年11月よりTNFD※の理念に賛同し、TNFDフォーラムに参画しています。そのような中、長谷工グループは、本フォーラムに参画しながら、社会的にも重要度が高まってきているTNFD最終提言に基づく分析を行い、当該提言に沿った開示準備を進めています。これが

らも、より一層自然資本・生物多様性に関する適切な情報開示を進め、様々なステークホルダーの皆様との信頼関係の醸成と持続的な企業価値向上に努めていきます。

※ TNFD：自然関連の情報開示を行うために必要となる枠組みの構築を行う組織。自然資本や生物多様性に関するリスクや機会の評価について開示を推奨。

「いきもの共生事業所認証(ABINC認証)」の取得

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)では、自然と人の共生を企業活動において促進することを目的とし、企業の施設(工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅等)の生物多様性に配慮した緑地づくりや管理・利用などを「いきもの共生事業所認証(ABINC認証)」として評価・認証しています。

2023年度、長谷工コーポレーションが設計・施工を手が

けた5件で「いきもの共生事業所認証(ABINC認証)」を取得しました。

生物多様性配慮への社会的関心が高まる中、生物多様性に配慮した提案をすることで、都市の自然環境の改善に貢献していきます。



生物多様性保全活動

長谷工グループでは、「長谷工グループ生物多様性行動指針」に則り、従業員のボランティアによる生物多様性を育み、守る活動を継続して実施しています。

「長谷工の森林(もり)」プロジェクト

[詳細はこちら▶](#)

「長谷工の森林」プロジェクトは、80周年記念事業の一環で、「社会貢献」「未来志向」「地域との連携」をテーマに長野県茅野市、和歌山県田辺市の2拠点で、森林保全・整備活動を行っています。地域の皆さまとともに、グループ全体で積極的に取り組んでいきます。

長野県茅野市「長谷工の森林」森林整備活動

長野県茅野市の「長谷工の森林」は、2017年に活動をスタートしました。面積は約13haで、七ヶ耕地産区産区をはじめ長野県林務部、諏訪地域振興局の協力のもと、社員・家族の手で間伐を中心とした整備活動を継続的に行うことで森林保全に努めています。活動をきっかけとして、地域の皆さまとの交流や、社員や家族が自然環境について学び、親しむ機会にもなっています。

2023年度は長谷工グループ社員とその家族を含む78名

が参加し、小木の伐採や倒木の片付けなどの森林整備活動を行いました。

和歌山県田辺市「長谷工の森林」森林整備活動

和歌山県田辺市の「長谷工の森林」は、2018年に「長谷工の森林」プロジェクト第2弾として活動をスタートしました。面積は約3haで、中辺路町森林組合をはじめ地域の皆さまの協力のもと、社員・家族の手で植樹や下草刈りを中心とした整備活動を継続的に行うことで森林保全に努めています。活動をきっかけとして、地域の皆さまとの交流や、社員や家族が自然環境について学び、親しむ機会にもなっています。

2024年度は長谷工グループ社員とその家族を含む53名が参加し、歩道整備やウバメガシやアラカシなどの苗木を700本植える活動を行いました。

HASEKO生物多様性セミナー

多摩市との共催にて、長谷工テクニカルセンターに設置されているビオトープと鶴牧西公園にて、植物や動物を観察することを通じて、里山と雑木林、生き物の繋がりなど生物多様性について学習するイベントを、多摩市在住の小学生以上のお子様に向けて開催しています。

2023年度に開催した「第4回いきもの発見in多摩鶴牧」では、水をテーマにした自然観察を行いました。お子様とその保護者11組25名(うち子供13名)にご参加いただき、「普段何気なく歩いている

道にも、色々な発見があって感動した。」「身近な植物について知ることができて、大変おもしろかった。」との声が寄せられました。



自然観察の様子



ビオトープ

環境マネジメントシステム

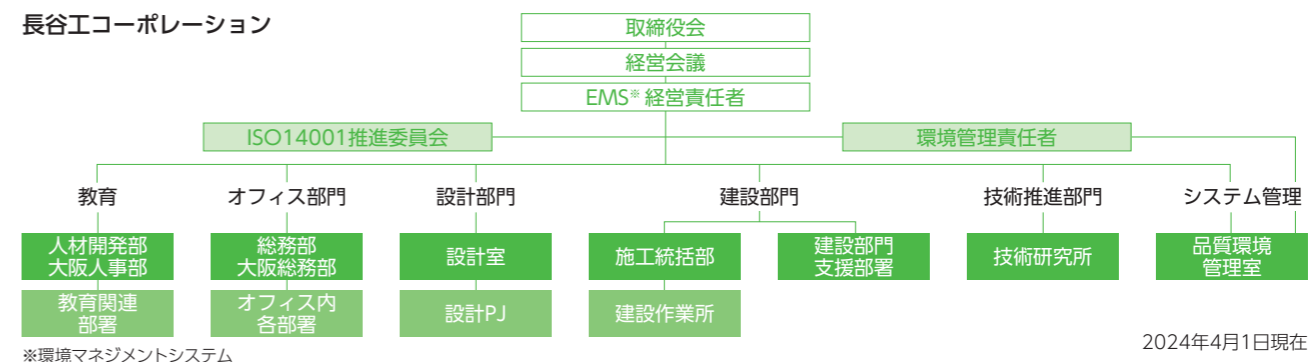
環境活動を推進・展開していくために、それぞれの部門で環境目標・目標値を掲げ、着実に取り組んでいます。

長谷工グループ環境基本方針／長谷工グループ生物多様性行動指針

地球環境の保全に努め、持続可能な社会の実現に向けて長谷工グループ環境基本方針、長谷工グループ生物多様性行動指針を定め、推進しています。

[詳細はこちら▶](#)

環境マネジメントシステム推進体制



環境マネジメントシステムの状況

長谷工コーポレーション・長谷工リフォーム・不二建設では、ISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得し、環境活動の継続的な管理・改善を図っています。

[詳細はこちら▶](#)

ISO14001認証取得の経緯

長谷工コーポレーションでは、2001年7月に関西地区、10月に東京地区でISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得しました。2013年10月に環境マネジメントシステムを東西地区統合し、運用しています。2024年4月現在、事業所約98%が認証を取得しています。

長谷工リフォームでは、2014年3月にISO14001環境マネ

ジメントシステムの認証を取得しました(東京・関西支社)。2018年4月に2015年版への移行及びISO9001品質マネジメントシステムとの統合を行い、運用しています。

また不二建設でも、関西支社で2020年12月に、東京支社で2021年2月に認証を取得しております。

今後も環境管理活動を継続して展開していきます。

取り組みと継続的な改善

環境保全活動を進めるにあたり、環境方針を策定、各部門は環境方針を受け環境目標・目標値を定め推進しています。

環境マネジメントシステムが規格要求事項を含め長谷工コーポレーションの取り決めに適合しているか、また適切に実施され維持されているかを内部監査及び外部審査によりチェックし、その結果を踏まえ、見直しを行い継続的な改善を図っています。

2023年度の外部審査受審日及び指摘件数は右記の通りです。

	登録日 更新日	外部審査受審日	外部審査 指摘件数
長谷工 コーポレーション	1997.3.31 2022.10.1	2023.7.25~26	0件
長谷工リフォーム	2014.3.13 2024.4.19	2024.2.5~28	0件
不二建設(東京支社)	2000.11.15 2024.2.22	2023.12.6~7	0件
不二建設(関西支社)	2000.3.1 2023.12.21	2023.10.18~19	0件